

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第3号

校訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 **はつらつとした生徒、地域に輝く学校** 令和3年6月1日(火)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『ぼく モグラ キツネ 馬』 ・ 『イチローへの手紙』

校長 小熊 誠

令和3年度が始まって約2ヶ月が過ぎました。5月～6月にかけては、大人も子どもも心が悲鳴を上げやすい時期と言われています。そこでさいたま市では6月を「いじめ撲滅強化月間」と定め、市をあげて子どもたちの心のケアにあたっています。本校でも生徒たちは、少しずつ新しい仲間、先生、クラス、部活にも慣れ始めてきたようですが、それに伴い、友だちとの小さな行き違いも始まりだしたかもしれません。そこで今回は、2冊の本のお話をしたいと思います。

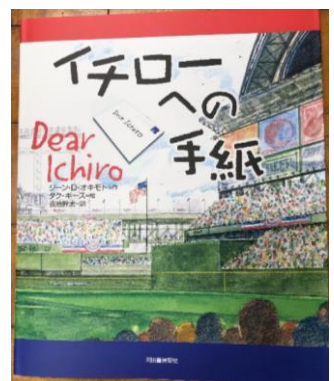
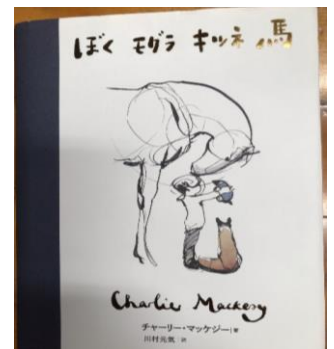
1冊目は、「ぼく モグラ キツネ 馬」という本です。登場人物は題名の通り、1人のぼくと3匹の動物です。ぼくと動物たちが会話をしながら旅をするお話です。沢山の感慨深い会話が交わされますが、特に、ぼくと馬の「いままでにあなたがいったなかで、いちばんゆうかななことは？」ぼくがたずねると馬は答えた。“たすけて”という会話に強く心が揺り動かされました。“たすけて”は、決して逃げる言葉ではなく、ゆうかなな言葉なのです。このことを生徒たちが、確実に自覚できる環境と安心して話せる仲間（脇役）を創ることが私たちには必要不可欠だと実感しました。

2冊目は、「イチローへの手紙」という本です。ちなみに6月の朝礼で、生徒たちに読み聞かせをしようと考えています。登場人物は、主人公のヘンリーと友達のオリバー。そしてヘンリーのひいおじいちゃんのチャーリーです。チャーリーがヘンリーに言った、「心の傷は治るんだよ」「仲直りするのに必要なのは、時間だけじゃないぞ。相手のことを思いやることも大切だ。お互いにね。それが一番大事なことだ。」「仲直りするには心が正しい状態（心が開かれた状態）になきゃいけないんだ。」という言葉が心に刺さりました。私は、このお話のテーマは「許す」ということだと考えています。

子ども同士の喧嘩であれ、大人同士の争いであれ、国同士の戦争であれ、「許す」ということはとても勇気が要る難しい行為であると思います。生徒たちがこのお話に触れ、相手を許す勇気を、そして許した後一緒に前に進む大切さを感じてくれたら幸いです。

中学校の3年間、学校の主役である生徒たちにはいろいろなことがあります。嬉しいこと、楽しいことばかりではありません。イヤなこと、辛いことにも出くわすかもしれません。そんな時生徒たちに、馬のように、“たすけて”と言えるゆうかなな心が必要です。そして安心して“たすけて”と言える環境と脇役（仲間）が必要です。すなわち、チャーリーおじいちゃんの存在が必要なのです。保護者、地域の皆様、私たち教職員とともに、心優しいチャーリーおじいちゃん・おばあちゃんを目指していきましょう。皆で、生徒たちの発する小さなサインを見逃すことなく、皆で見守り、皆で声を掛けていくことが、生徒たちのさらに輝く笑顔に繋がるはずです。どうぞ今後とも温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

最後に、じめじめと暑くなり、コロナウイルスのまん延防止対策措置も延期になり、熱中症も心配な季節となってきました。保護者・地域の皆様もお体には十分御留意ください。そんな中でも大原の主役である生徒たちは、沢山の制限の中、少しずつ輝き始めています。そしていよいよ、6月5日からは、何とか2年ぶりに学校総合体育大会が実施できそうです。どうぞ主役たちの活躍に御期待ください。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校